

# エサキキンヘリタマムシ

## コウチュウ目タマムシ科

*Scintillatrix kamibochiana* (Obenberger)

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

### 選定理由

個体数が少なく、日本海側の分布西限に近いと思われる。

### 形態

体長9～10mmの中型のタマムシで、美麗種。体色は黄色味があった緑色で、細かい黒点を散らし、上翅外縁は金橙色をおびる。オスの腹端は半月形にえぐられ、メスは丸く先端に小さい切れ込みがある。

### 国内分布

北海道、本州。

### 県内分布

白山市。旧鶴来町より旧白峰村までの手取川流域に分布する。

### 生態

成虫は5月下旬～8月に見られ、ヤナギ類やハンノキ類の葉を後食する。幼虫はヤナギ類の生木やその衰弱部を食し、成虫になるまで2年以上を要する。発生地では、林道沿いのカワヤナギや河川敷のネコヤナギに食害が見られる。

### 生息地の条件

河川流域にヤナギ類の群落があること。

### 生存の危機

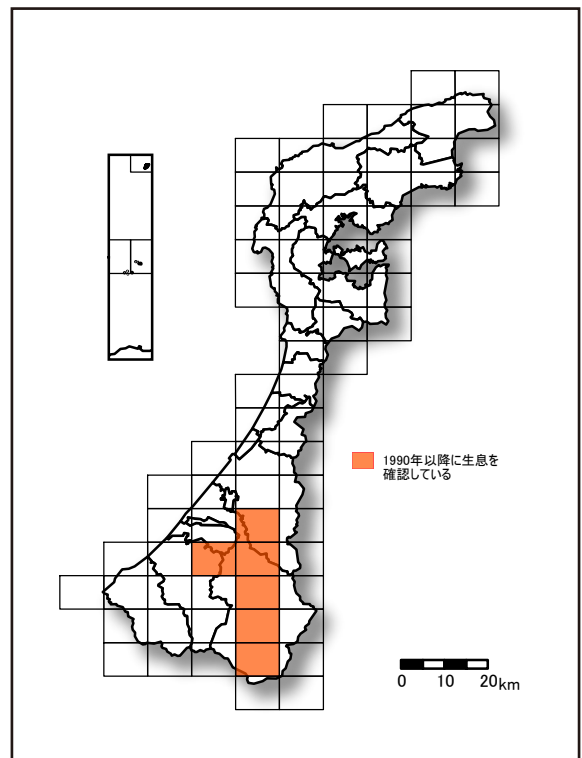
現在は生息範囲が広いが、今後、河川の改修工事等による食樹の減少が懸念される。(A)

### 参考文献

高羽正治 1998. コウチュウ目タマムシ科. 石川県の昆虫 : 155-157. 石川県自然保護課.



写真提供者:富沢章



県内の分布